

光り輝く

令和3年度 東アジア国際シンポジウム

令和3年

10月16日(土)

長崎歴史文化博物館ホール

13:00 ~ 16:30 **事前申込必要**

基調講演：福岡大学研究特任教授・名誉教授
春日市奴国の丘歴史資料館名誉館長 武末 純一

講師：九州大学准教授 辻田 淳一郎

福泉博物館学芸研究士 洪 性栗 (ホン・ソヌル)

長崎県埋蔵文化財センター主任文化財保護主事

白石 溪沔

関連講座(特別講座)

令和3年 **事前申込不要**

10月24日(日)

壱岐市立一支国博物館
3階多目的ホール

14:00 ~ 15:30

講師：長崎県埋蔵文化財センター
主任文化財保護主事 白石 溪沔

青銅器を求めて

- 原の辻遺跡出土青銅器から見た東アジア交流 -



参加無料



原の辻遺跡出土新資料：馬形青銅製品

魏志倭人伝に「南北に市^{してき}糴す」と記された一支国の王都原の辻遺跡では、中国・韓半島からもたらされた青銅器が多く出土しています。こうした青銅器は、戦いや祈りの場において、さらには交易の場において用いられたと考えられています。

今回のシンポジウムでは、原の辻遺跡から出土した国際色豊かな弥生時代の青銅器に焦点をあて、日韓考古学の第一人者である武末純一氏（福岡大学研究特任教授・名誉教授および春日市奴国の丘歴史資料館名誉館長）と、銅鏡の検討をもとに弥生時代と古墳時代の研究をされている辻田淳一郎氏（九州大学准教授）をお招きし、さらに友好機関協定を締結している釜山博物館福泉分館の職員で韓国の青銅器について詳しい学芸研究士のホン・ソンユル氏にオンラインにて参加をいただき、弥生時代の人々はどのような必要性から海を渡り青銅器を求めたのかについて議論し、当時の国際文化交流の様子を明らかにしていきます。

令和3年度 東アジア国際シンポジウム

光り輝く青銅器を求めて

- 原の辻遺跡出土青銅器から見た東アジア交流 -

令和3年

10月16日(土)

事前申込必要

13:00 ~ 16:30 (開場 12:00)

長崎歴史文化博物館ホール

(長崎市立山1丁目1番1号)

基調講演：福岡大学研究特任教授・名誉教授
春日市奴国の丘歴史資料館名誉館長 武末 純一

講師：九州大学准教授 辻田 淳一郎

釜山博物館福泉分館学芸研究士 洪 性栗

長崎県埋蔵文化財センター 主任文化財保護主事
白石 溪沔

関連講座（特別講座）

令和3年

10月24日(日)

事前申込不要

14:00 ~ 15:30

壱岐市立一支国博物館 3階多目的ホール

講師：長崎県埋蔵文化財センター 主任文化財保護主事
白石 溪沔

参加無料

お申込方法

お名前・住所・電話番号を下記宛先まで、はがき・電話・FAX または Eメールにてお伝えください。

長崎県埋蔵文化財センター 〒811-5322 長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触 515-1
TEL 0920-45-4080 FAX 0920-45-4082 Eメール s40410@pref.nagasaki.lg.jp



ホームページは
こちらから
<http://www.nagasaki-maibun.jp/index.html>

※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容を変更する場合があります。変更となる場合は、当センターのホームページおよび Facebook にてお知らせいたします。

【共催】釜山博物館、長崎歴史文化博物館、壱岐市立一支国博物館
【後援】長崎県教育委員会、壱岐市教育委員会、魏志倭人伝のクニグニネットワーク参加自治体・教育委員会、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞
西部本社、壱岐新聞社、壱岐新報社、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCO長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、光ネットワーク(株)壱岐支店